

10月5日（土）、神戸海洋博物館にて「NPO法人みなとの達人」主催の「神戸みなとの知育楽座PART－13」が開催され、その中で当倶楽部岡橋理事長が「日本のゴルフは神戸に始まる」という内容の講演を行いました。

数十人の聴衆を前に、理事長からはゴルフ界の現況の説明から始まり、1903年にA. H グループ氏が倶楽部を創立した経緯や当時の時代背景から説き起こし、現在に至るまで歴史・伝統に裏付けされ引き継いできた倶楽部ライフの話を中心に歴史写真のスライドを見ながら進められました。

最後に、長い歴史の中で会員の倶楽部ライフを支えてきた巨匠W. M. ヴォーリス氏設計によるクラブハウスやチェンバーの中を紹介するとともに、老朽対策（改修）事業として現在実施中の「神戸市制定／ふるさと納税（企業版）」を活用した寄附活動にも言及されました。講演後の質疑応答の中では、「是非、歴史遺産であるクラブハウスを視察させて欲しいが、どうしたら良いか。」「貴倶楽部の創立メンバーであったH. E. Dunt氏（キャプテン、記録写真撮影、執筆活動）のことをずっと調べている。関係資料があれば、是非見せて頂きたい。」等の要望も出されるなど、充実した講演会となり、「日頃、なかなか触れることがない神戸ゴルフ倶楽部にまつわる貴重な話が聞けて良い機会だった。」との感想を頂きました。

